



スポーツチャンバラは、今から50年ほど前に^{こたちごしんどう}小太刀護身道という名前で横浜で誕生した武道です。今ではスポチャンという愛称で、国内だけでなく世界中に多くの競技者がおります。

競技そのものは、思い切り打っても痛くなく安全なソフト剣を使い、ルールもどこを打たれても負けと分かりやすいため、幼児から高齢者まで幅広い年齢層で、性別も体格も関係なく障害者も健常者も、いろいろな世代や国々の人々が交流し、また、武道の礼儀作法やスポーツの健全さ、身を守る技、遊びの楽しさ全てを集約した生涯スポーツとして親しまれてきております。

兵庫県でも、神戸、高砂、姫路のクラブで子どもから大人まで毎週活動し、2006年には、のじぎく兵庫国体において、デモンストレーション競技として、佐用町で大会が開催されました。

青少年の健全育成では、礼儀を重んじ、打たれることにより、人の痛みを知り、相手への思いやりやお互いを認め讃えあうことのできる豊かな心を養うとともに、全身が対象となるため非常に高い身体能力と集中力、相手の動きや心を読む力が要求され、心身の鍛錬に大きな効果が期待できる競技スポーツです。

さあ、一緒にスポチャンを楽しみましょう。